２０１８年６月１１日発行　毎月12回（１と３と５と７のつく日）　通巻7234号　第44号

ＳＳＴＫ　　ＳＳＴＫ　１９８３年７月１９日第三種郵便物承認(1)

さくら草だより

発行人:埼玉県障害者団体定期刊行物協会
〒332-0851
川口市芝新町15-9アステール藤野1階
電話:048-225-1625　頒価:50円

編集人:社会福祉法人さくら草
〒336-0015　さいたま市南区太田窪3501-2
HP:http://www.sakuraso.net/ 電話:048-813-7426
Fax:048-8866301 E-mail:info@sakuraso.net

「大きくなぁれ♪」in コスモスガーデン

「じゃがいも！」「いちご！」　コスモ班ではみんなで意見を出し合い野菜と果物の栽培を始めました。日課ではマイじょうろで水やりをして大切に育てています。じょうろは自分の手に合ったサイズをチョイス。素敵な飾り付けもしました。愛情を注がれた芽はグングン成長中です。収穫の日が待ち遠しいですね♪
☆苗の寄付をしていただき、ありがとうございます。（コスモス班・平）

ころたん（メロン）

マイじょうろ

☆★ニヤリハットをご紹介☆★

机の上に並べられた３つの正体とは？

ある日の午後、Kさんが私物のカセットテープにタオルケットを掛け、「おやすみなさい」と話しかける姿を見た。日頃から班の仲間にタオルケット掛けたり、落とし物を拾ってくれる仲間思いのKさん。時にパニックになるとカセットテープを叩いてしまうこともあるがいつも最後は大事に巾着袋へしまう。
そんな話を聞いた職員がカセットテープ専用のお布団セットを作ってくれた。
【ふとん】【かけぶとん】【テープ】
毎日、音楽鑑賞が終わると3つのセットを順番に並べてからカセットテープをお布団へ寝かせる。
「おやすみなさい」
今日もそんな声が聞こえてくる。
今後もKさんとカセットテープ“さん”の関係を見守っていきたい。

日常のふとした瞬間にこんな素敵な出来事がありました♪(ふたば班・齊藤)

母のような優しい温もり

さくら草には赤ちゃんや小さなこどもとの交流がある。
育休中の職員が赤ちゃんを連れてふたば班へやってきた。
「Nさん、かわいい赤ちゃんだよ！」とNさんのもとへ。互いに見つめ合い、静かな時間が流れる。
赤ちゃんのお腹には優しく添えられたNさんの手。

“手と手に触れる”
“こころとからだを育てる”
日々、日課で取り組んでいる静的弛緩誘導法の大切さを改めて感じる瞬間であった。

広報誌の封入作業は　デイセンターさくら草・アトムが担当しています

２０１８年６月１１日発行　毎月12回（１と３と５と７のつく日）　通巻７２３４号　第４４号
ＳＳＴＫ　１９８３年７月１９日第三種郵便物承認(2)

＊川口桜まつりへ＊

4月6日、いぶきメンバーのＩさん、Ｋさん、Ｓさんと職員3人で『川口桜まつり』にお邪魔してきました。今年は3月から暖かい日が続き「もう桜が散っているのでは..」という予想とは裏腹に、開花の遅い八重桜が満開で見頃でした！来場者には甘酒が振る舞われ、甘酒とたくさんの桜に囲まれてみんなの笑顔がこぼれます。Ｋさんは自分のブログに使う写真を撮ったり、Ｓさんに「写真を撮らせてください」と言うとポーズをとってくれたり、Ｉさんはボランティアの方々がたくさん桜の花びらを集めてくれて、お花に囲まれニコニコ＊思い思いの桜まつりを楽しみました。

そしてテレビ取材を受けることに！ＫさんとＳさんと職員が取材を受け、身振り手振りでちょっとドキドキもありつつ..テレビデビューを果たしました。

その後はいぶきで待っているメンバーにお土産を購入し帰路へ・・車内では、みんな口をそろえて「来年はいぶき全員で桜まつりに行きたいね！」と語っていました。来年の楽しみがまた一つ増えたいぶきでした。　(長渡)

2018年度 いぶき農園 はじまりました。

2018年春。植木職人をされている利用者さんのお父様から野菜の苗をいただきました。とてもいい天気の中、泥だらけになりながら植え付け作業。今年は庭でミニトマト、キュウリ、ナス、スイカ、ゴーヤ。プランターでオクラ、枝豆に挑戦します！みんなで協力して植え付けし、水をたっぷりあげました。お父様からアドバイスをたくさんもらい、去年よりも畑らしい畑になりました。おいしい野菜ができるようにお世話をしていきたいと思います！　(北嶋)

デイセンターいぶき →6面に「初年度を振り返って」の記事があります

＜さくら草・アトム・いぶき活動報告＞　（２０１８年5月１日～２０１８年7月31日）

5/1新郷小学校交流（5.6年）	5/31消防訓練Dアトム
5/12～１４指導者養成研修（市川）	6/21健康診断
5/12、１７有償運転（長渡）	6/23虐待防止権利擁護研修（市川、長渡、富田）
5/19東京女子大　同窓会　販売参加	7/26～27喀痰吸引等研修(杉本)

健康診断：年２回／通院介助、静的弛緩誘導法訓練会参加、陶芸、せっけん教室：適宜
誕生会：各誕生月／理容カット、体重測定、各班避難訓練、各班イベント、音楽療法、
アロマセラピー、給食会議、家族会：月１回／美容カット、安全委員会：隔月／各会議：月１回～

２０１８年6月１１日発行　毎月12回（1と3と5と7のつく日）　通巻７２３４号　第４４号
ＳＳＴＫ　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(3)

アシストさくら草

またお出かけのご希望等ありましたら遠慮なくお伝えください。
移り行く季節とともに、アシストでのお出かけの行き先も変わっていきます。冬場はなかなか出かけられなかった方々も、外へ出たくなりますよね。
冬場も元気よくお出かけしていた方々は、さらにアクティブに！そんな最近のお出かけの様子をご紹介いたします。またお出かけのご希望等ありましたら遠慮なくお伝えください。

しいたけ狩に行ってきました♪

キッズさくら草

平成３０年４月より、デイセンターさくら草の方に引っ越してきました。新男性職員も加わり、場所も雰囲気もガラッと変わったキッズさくら草！パワーアップしたキッズさくら草をよろしくお願いします！個性豊かな子ども達にぜひっ会いに来てください！！

４月からキッズに来ました杉山です。(左)５歳の娘がいる一児の父です。まだわからない事ばかりですが、子供たちの興味を引けるような支援をしていきたいと思います。よろしくお願いします。

４月からキッズに来ました福岡です。(右)こどもたちと楽しく遊びながら、一緒に成長できたらと思います。よろしくお願いします。

２０１８年6月１１日発行　毎月12回（1と3と5と7のつく日）　通巻７２３４号　第４４号
ＳＳＴＫ　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(４)

南区障害者生活支援センターあみ～ご

あみ～ごの業務紹介

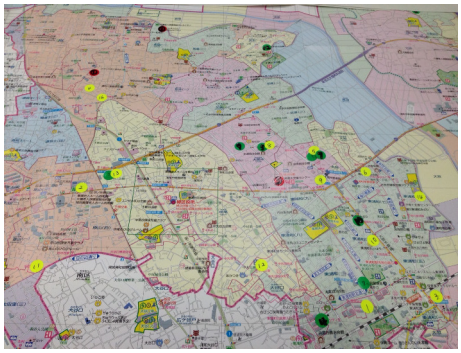
あみ～ごの業務は、サービス利用計画を作成していることは理解していただいていますが、他には普段どのような業務をしているのか、あまりよく知られていないと思います。今回は、あみ～ごの業務を1つでも知っていただければと思い、相談支援連絡会議での福祉マップの作成をご紹介したいと思います。

相談支援連絡会議の様子

相談支援連絡会議って？

相談支援に関わる事業所が集まり、情報交換や事例検討、計画相談支援の質の向上・支援の体制つくりを目的とした会議です。計画相談業務を行う上で、事業所間で共通の認識や情報を持つことで、事業所としての「点」としての取り組みから、地域として「面」での取組・活動と展開していける様にしていく為の会議です。あみ～ごもこの相談支援連絡会議に月に1回出席しています。

福祉マップ参考画像



福祉マップの作成

地域にある社会資源の情報等を、各事業所が持ち寄り、社会資源の地図を作成する取組です。地図を作成することにより、地域性や資源情報の確認・共有していくことで、地域としての活動を目指しています。

（中下）

職員紹介

宮嶋　咲月　　みやじま　さつき

約2年の産休と育児休暇を経て、今年5月にあみ～ごに復帰しました。

久しぶりに満員電車に揺られ、久しぶりにあみ～ごの空気を吸い新たな気持ちで仕事しております。この間変わったこともたくさんあれば、変わらないものの安心感もあります。それらを楽しみながら、また相談支援の感覚を取り戻し頑張っていきたいです。

よろしくお願いします。

２０１８年6月１１日発行　毎月12回（1と3と5と7のつく日）　通巻７２３４号　第４４号
ＳＳＴＫ　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(５)

座位保持と福祉車両

サポートさくら草に新しい車が仲間入りしました。

「青いさくら草号」と呼ばれた「さくら草2号」が、１３年の働きを終え引退。その後継としてやってきたのがこの「白いさくら草2号」です。

サポートの利用者さんは車いす使用率が高い。個人個人にあわせたオーダーメイド車いすなので、サイズも大きくなりがちです。座位をとるのが難しい方は車いすにあわせて成型された座位保持クッションも欠かせません。それがどうしても車いすのサイズをアップしてしまうのです。

日常生活において，私たちが椅子に座る主な目的は，食事，作業活動，休息，コミュニケーションといったことがあげられます。そのことから，座位保持の目的は大きく分けると生命維持と社会参加ということになります。

体に合わせた座位保持を装備した車いすなら、食事の姿勢も保たれ誤嚥しにくい。食事の機能を長期にわたり保つことが期待できます。離床時間を長くでき、社会参加や作業に従事もできます。

体にあった座位保持＋車いすを使用することにより、社会とのつながりが維持できるのです。しっかりサイズの車いすでも、安全に安楽に移動が可能になる福祉車両は、サポートの活動に不可欠です。新しく仲間入りした「白いさくら草2号」はみなさんとの楽しい思い出をたくさん作るべく、安全運転で出発します。

（佐々木）

《白い
さくら草
２号車》

サポートさくら草

２０１８年6月１１日発行　毎月12回（1と3と5と7のつく日）　通巻７２３４号　第４４号
ＳＳＴＫ　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(６)

『デイセンターいぶき、初年度の活動を振り返って』

[概要]
平成29年4月より川口市東本郷に生活介護の事業所として、「デイセンターいぶき」がスタートしました。定員20名ですが、当初は利用者10名からのスタートでした。初めて関わる利用者さんが半数以上だったので、はじめは慣れない部分も多かったです。その後、7月に1名(女性)、8月に1名(男性)の利用者が増えました。新年度にも新しく利用者の方を迎え、現在は13名の方がいぶきに通っています。

◆日中活動
利用者の方は重度の重複障害を抱え、車いすを利用して通って来る人も多かったので、まずは車いすからマットに降りて、ゆっくりと体を休める「健康プログラム」の時間を重視しました。広々としたスペースが取れ、みんなリラックスして過ごせていました。
作業としては、まず始めにプランターを使って野菜の栽培を利用者の方と一緒に行いました。初めに植えたのはキュウリ、ナス、オクラだったと思います。植え付けが終わると、みんなで水あげを行って育てました。野菜の栽培作業は野菜の成長が目に見えて分かるので、みんなにとっても分かりやすい作業になっていたような感じがします。収穫の時期になり、自分たちで育てた野菜を持ちながら満面の笑みを浮かべていた利用者の方を思い出します。
8月からは貝殻細工の作業がスタートしました。これはいぶきのすぐ近くにお住いの方のご厚意で、貝殻細工を利用者さんに教えたいというのがきっかけでした。貝殻を使って花のキーホルダーを作ったり、カメや犬などを作ったりする作業です。その後、貝を数種類頂き、いぶきでも作業の一つとして貝殻細工の作業を行うようになりました。
他にも、毛糸を使った手芸作業やコースター作り、缶バッチ作り等も行いました。毛糸で犬やクマのアクセサリーやマグネット、髪留め等を作ったり、コースターや缶バッチを作ったりしました。
秋に開催された越谷特別支援学校の文化祭での商品販売に向けて、いぶきでの商品作りをみんなで頑張りました。
作業に関しては、利用者の方が参加出来る部分がどうしても限られてしまう部分がありますが、それでも生産活動として一緒に参加し、作業の少しの工程でも職員と一緒に参加する事を大切に行ってきました。

◆今後の展望
①29年度は新郷小学校の子どもたちが３回いぶきに来てくれ、交流の場を設ける事ができました。次年度も新郷小学校との連携を大切に色々と交流が広がるようにしていきたいと考えています。
②地域で行われている行事への参加を大切にしていきたいと考えています。いぶき周辺の地域はとても地域間での連携が密に取られているので、この場所の強みを活かしていきたいと考えています。

◆まとめ
一年を振り返り、いぶきは場所がさくら草から離れている事で、施設長として、今までより一層責任を感じました。一方で、自分の想いがストレートに施設の考え方に反映してくる事に面白さや可能性といった事も多く感じました。利用者の方にとって良いと思う事が一番に考えられ、その想いを職員同士が共有して進んでいけるという事は、とても魅力的です。
29度はいぶきが良い方向に進んで行けるよう、職員間での連携を大切にして進んできました。ゆう職員（有期契約職員）さんとも2回面談を行い、いぶきでの業務について疑問点、改善点等、思っている事を伝えてもらう場を作りました。改めて面談という場を設けると、職員一人一人が色々と思っている事や感じている事を伝えてくれる事も多くありました。職員が生き生きと働いている場こそが、利用者さんへのより良い支援につながると考えているので、次年度も対話をする場を大切に考え、職員一人一人が目標を持って働きやすい環境を整えていきたいと思います。

デイセンターいぶき　施設長：市川知任

＊ 川口市に開設して1年目。
施設長に活動の様子と今後の抱負を寄稿してもらいました ＊

✻さくら草だよりは晃新印刷さまのご厚意を頂き印刷しております✻

編集後記

季節が一足早く進む中ヴォーカルになりたい「夢」へ向かう利用者さんがいます。私たちにできることは何か？と考え、感じている初夏！（N）